



「子どもへのまなざし運動」

～子どもへのまなざし“100%”のまちを目指して～

子どもの健やかな成長は、すべての大人の願いです。そして、子どもが健やかに成長していく過程では、多くの他者とのかかわり、とりわけ大人とのかかわりが重要です。佐賀市では、すべての大人が、子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的にかかわる社会「子どもへのまなざし“100%”のまち」の実現を目指し、市民総参加で子どもを育む市民運動として「子どもへのまなざし運動」を推進します。

この運動は、「家庭」「地域」「企業等」「学校等」を“子どもを育む4つの場”と位置づけ、「命」「自立」「他者とのかかわり」「子どもを取り巻く環境」という“4つの視点”を意識しながら、大人一人ひとりが“4つの場”における役割を再認識し、社会全体で子どもを育む気運を高めようという運動です。



家庭の役割

子どもを一人前の大人・親に育てる

「命」のつながりを伝える

★人の命は先祖から受け継がれ、未来へとつながる尊いものであることを子どもに伝えましょう。

例えば…

- 大人自らが自分の命のつながりを再認識し、そのことを子どもに伝える。
- 命の大切さを伝える本を読み聞かせたり、一緒に読んだりする。
- 毎月1日の「佐賀市いじめ（命）を考える日」に、家族で命について話す。
- 身近な人や飼育していた動物の死などを経験した時に、命の尊さを教える。

家族団らんの時間を増やす

★成長段階に応じた子どもとのふれあいを大切に、子どもの心身のよりどころとなるような家庭をつくりましょう。

佐賀市PTA協議会では、毎月1日を「親子ふれあいデー」と定めています。

例えば…

- 小さい子どもは抱きしめて育て、親の愛情を肌で伝える。
- 子どもからの問いかけにはすぐに応じ、子どもの立場に立って話しを聞く。
- 子どもとのコミュニケーションを心がける。
- 子どもの反抗期の気持ちや行動を理解する。
- できるだけ家族一緒に食事をして、家族の会話の機会を増やす。
- 家族全員が参加する我が家の行事をつくる。

基本的な生活習慣を身に付けさせる

★家庭での生活リズムを確立し、子どもに基本的な生活習慣や社会のルールを身に付けさせましょう。

例えば…

- 大人自身が規則的な生活リズムを確立し、子どもにも早寝・早起きなどの生活習慣を身に付けさせる。
- 朝食はきちんと食べさせ、一日3食という食生活のリズムをつくる。
- 「おはよう」「おやすみ」などのあいさつの習慣を身に付けさせる。
- テレビやゲームなどの時間を決め、守らせる。
- 子どもにも家事の役割分担を行い、その役割に対して責任を持たせる。
- 社会のルールを大人自らが再認識し、子どもに教える。

子どもを有害な情報・環境から守る

★子どもを取り巻く環境に気を配り、有害な情報や環境から子どもを守りましょう。

例えば…

- パソコンや携帯電話がもたらす危険性を認識する。
- パソコンや携帯電話の利用方法（ルール）について家族で話し合っ決めて。
- パソコンや携帯電話には、有害情報から子どもを守るためのフィルタリング機能やアクセス制限などの機能をつける。
- 子どもが見るテレビ番組や読む雑誌・マンガ本等に気を配る。
- 学校で禁止されている場所（ゲームセンター等）には子どもを連れて行かない、行かせない。
- 子どもの交遊関係や外出先などを把握しておく。

各家庭でも、この“子どもへのまなざし運動”に積極的に取り組んでいただきますようお願いします。

「我が家の取組宣言」に、各家庭での取組内容を記入していただき、常に家族の目につくところに掲示してください。

大人自らが率先してその取組を実行しましょう。

自宅
掲示用

「子どもへのまなざし運動」

我が家の取組宣言

取組内容

(※表面の例や下記の記入例などを参考に
にご記入ください。)

記入例

- 毎月1日は、「我が家の命を考える日」と決め、家族で命について話します。
- 我が家の就寝時間は、子どもは「〇時」、大人は「〇時」とします。
- 毎月第2日曜日は「〇〇家デー」と決め、家族全員参加の行事を行います。
- 毎月第3土曜日を「〇〇家ノーテレビ・ノーゲーム・ノー携帯デー」とします。

など



問い合わせ先：
子どもへのまなざし運動推進室
電話／40-7354
FAX／40-7394